

「変化の激しい時代に挑戦の手を緩めない」

この時代の変化の激しさは何でしょう。あつという間に時代が変わっていきそうです。
この変化についていけない企業はたくさんあります。介護、医療分野においてもそうです。この激しい変化は、事業を行っている者には機会(チャンス) 到来といったところではあります。
脇をしつかり固め、自己変革を行いながら、新しい時代に挑戦していきたいと思えます。
三年も経てば全く別の会社の姿をお見せすることができます。



代表取締役社長 寺河 駿

IT分野のBCP対策

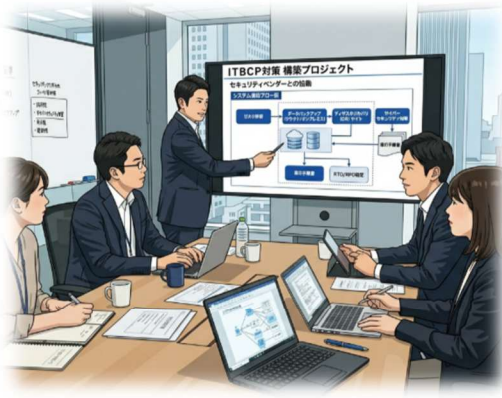
現在。見守りや請求業務など、介護現場にIT機器やソフトウェア・サービスなどが着実に浸透してきています。しかしこれらの機器の操作や異常対応が、ぶっつけ本番となつていく状態ではないでしょうか。

そこで一度基本に戻つて、食事介助するように、IT機器の操作を特別に意識することなくスムーズに行えるようになることが必要となります。なぜなら大きな地震が発生した時には停電・ネットワークの不通などが考えられます。これはIT機器のアキレス腱であり、この状態からIT機器の再稼働へ向けての対応が可能な判断や、機器が使えないときの緊急対応の手順。災害は大地震だけではなく、河川の増水や近隣の火災など、予見できるものもあり、その場合全体としての優先すべきことの中にIT機器の対応をどう組み込むかというルー

ルも必要となります。

またIT機器の対策として二四時間最前線である点として、外部からの不正アクセス・ウイルス感染・端末を紛失や盗難が起こった時などの対応マニュアルが必要となります。アクシデント発生時に適切な対応がとれるのは当たり前で、インシデントの時点で速やかな予防ができるために何をすべきかはルールとして決めておく必要があります。今まさに、このようになりスクが急増しています。

外部の専門家を交えることで完成度を高めます。



四月七、九を中心にな居浜市西喜光地町八番一号、居宅新居浜事業所の隣へ移転しました。



向かって左側が事務所になります

これまで公民館として使われていたという古民家のフロア、陰々滅々とした事務所運営してきましたが、新しい事務所はドアや窓が大きく照明も明るく、とても気持ちの良いオフィスです。モスバーガーのドラ



引越しは複合機を除けば殆どを現地職員と、お手伝いの新規事業・エリア職員・ITシステム課など社内スタッフで行いました。



介護ICTフェアin高知

四月一七日に、高知市にある「かるぼーと(高知市文化プラザ)で開催された介護ICTフェア(キヤノンS&S主催)へ高松エリアから四名、ITシステム化から一名が参加して、生成AIをどのよう



また当日は生成AI体験や、特に悠遊社でも導入を進めている「ねむりスキャン」などのシステムの展示や、シナリオブースでは、実際の現場をイメージした寸劇でわかりやすく説明が行われていました。導入時に技術的な支援をしていても、実際の現場で役に立つシーン、例えば店頭・離床・心拍の停止といったヒヤリハットのイメージがよく分かるものでした。導入時にこういった動画を見るとイメージしやすいのではと思



各メーカーさんによるICT展示ブース

五月誕生日職員

福利厚生の一環として誕生日お祝い金を支給いたします。

- GH あんどグエン ユイ カイン
- GH エーデルグエン ティ ガ
- I/有料エーデルグエン 靖子・伊
- 東 雄太・ジン ミン ハン/スマ
- イルデイ/永易 淳志・川上 蘭
- GH たんぼほ森實 香織・尾崎
- 知恵/よろこび泉 三男/デイ花
- ぜん久保 暁士・越智 茂登美
- 住んで民家近見/阿部 寧寧・黒
- 岩 真澄・柏木 由香・ター ニ
- ニ/デイねこの手/西谷 久子
- ゆうゆう古川/岡田 繁/GH 菜の
- 花/藤澤 秋子/ゆうゆう高松/上
- 田 ゆかり/デイゆうの季節/矢野
- 真美/デイはなび/矢野 奈津希
- ゆうゆう三島/近藤 美紀子/GH
- 重信の郷/長井 美恵子/ゆうゆう
- 春日/吉岡 海美/デイゆうゆう
- 西川 貴章・石本 千恵/有料ゆう
- ゆう/松尾 亜希子・中川 隆詞・
- 平岡 秀和・サペー カイン/GH
- ゆうゆう鴨川/神崎 泉/GH ゆう
- ゆう高岡/野本 量太/サ高住 新
- 居浜/上野 洋子/新規事業/伊藤
- ゆか子・網野 有依子/ファミ
- ン チエン/小規模泉川/瀬谷 繁
- 幸・シユエ ヤー マー/住んで
- 民家倉敷/キン カラヤ ピョー
- 総務課/岡崎 幸子/ゆうゆう大洲
- ルオン ゴック ピエン・グエン
- ファミ トウイ リン/シヨート
- ゆう大洲/富永 元氣/デイゆう
- ゆう大洲/岡本 佳祐・ミン
- ン ウー/ゆうゆう市坪/加地 則
- 夫・青野 扶抄/ゆうゆう西条/大
- 澤 美佐子/デイきて民家/長井
- 佳美/東予訪問/黒河 千秋/かり
- ん/浅木 幸恵/フリージア/ガル
- シヤ アナ リザ イボ/ゆうゆう
- 姫路/加々良 公美/前川 美佐
- 子・神田 卓哉/GH 優瑠里/タン
- ジン トウエ/優瑠里/テイ釜倉/金
- 谷 郁江/GH かざはや/モン
- ン ティン/デイ花へんろ/吉村
- 美来/GH 三木/ニン モン カイ
- ン/GH せと/梅山 由里子/TP
- || 佐藤 久美子・チャン ティヒ
- エン/ブロック長/阿南 みか・莖
- 田 真子・角田 千津子



ゆうゆう高松 山西 望

今回は、いつも穏やかに過ごされる木村スエ子様にお話を伺いました。
ここに入居されてどれくらいかお聞きすると、「一年が来るんでないかな？ 姉と一緒に住んでいたけど、姉が亡くなって家でこけて骨を折ったからね。」と話されました。



居室では、クロスワードをされたり広告でゴミ箱折りをされたり、中国ドラマや韓国ドラマを見られたりして過ごされています。「韓国ドラマが好きなんですか？」とお聞きすると「そうゆうわけでもないんだけどね。」と話されました。



今までにどこに行ったことがあるかお聞きすると、「白浜（和歌山県）は何度か行った。友達とは新婚旅行で能登に行った『よかった』と言っていたから能登にも行ったことがある。食べ物良かった。」と笑顔で話されました。

現在94歳の木村様、これからはお元気に過ごされるようお世話させていただきます。

ゆうゆう立花 川西 美穂子

当施設では、玄関にお雛様を飾り、利用者様に季節ならではの行事を楽しんでいただきました。華やかなお雛様をご覧になると、「きれいだね」「昔は家でも飾っていたよ」と懐かしそうに話される方も多く、自然と会話が広がり、笑顔あふれるひとときとなりました。お雛様を囲みながら、皆様に春の訪れを感じていただくことができました。



また、利用者様のご家族様のご厚意により、オカリナ演奏会も開催していただきました。やさしく澄んだ音色が館内に響き渡り、懐かしい唱歌や親しみのある曲が流れると、口ずさんだり手拍子をされたりする姿も見られました。穏やかな音楽に包まれ、皆様にとって心に残る楽しい時間となりました。



デイゆうゆう大洲 成松 和美

日頃、様々な活動を通して、ご利用者様の知られざる一面に気づかされています。
まず、コップを集めて洗いにいくときは、皆さん率先して席を立たれます。機能回復を兼ねた「タオルたたみ」では、ご自宅では何もされない男性の方も、角を合わせきれいにたたんでくださいます。

さて、ある日のおやつ作りレクでの「ぼた餅作り」は、最初こそ職員の説明通りに形を作られますが、次第に職員の声も届かない程に真剣で、爆弾のような巨大ぼた餅が出現する事が度々見られました。「昔はこれぐらいの大きさじゃったんよ」とから始まり「昔はよく作りよった」等会話が始まり、普段口数の少ない方や動きの少ない方も、輪に入り、笑い声が聞かれて話が弾んでいます。

また、包丁を使用される時は、背筋が伸びて、普段「腕が痛い」と言われている方も見事な包丁さばきで、職員も脱帽しています（笑）



ご利用者一人ひとりが作業を分担する事で、まだできると自信のある行動に驚かされています。

G H市営野球場前 渡部智恵

この度、ボランティア活動のお声掛けをいただいたことをきっかけに、以前趣味として楽しんでいたオカリナを再び手に取り、演奏する機会をいただくことになりました。久しぶりに奏でる音色には少し緊張もありましたが、懐かしさと喜びが込み上げ、改めて音楽の素晴らしさを感じました。私たちは、オカリナの柔らかく優しい音色を通して、利用者様にほっと心が和むひとときをお届けしたいという思いで演奏しました。



当日は、昔から親しまれている唱歌や歌謡曲など、一緒に口ずさんでいただけの曲もご用意し、演奏が始まると自然と手拍子をされたり、小さな声で歌ってくださいたりと、会場全体が温かな雰囲気になりました。

利用者様同士や職員との会話も弾み、笑顔と交流の輪が広がっていく様子に、私たちも大きな喜びを感じました。

演奏会後には「良かった。また聞かせてんよ。」と嬉しいお言葉をいただき、その一言が何よりの励みとなりました。利用者様に喜んでいただけたことはもちろん、私たちにとっても心に残る、一日となりました。

今後このような機会を大切にし、音楽を通じて温かな時間をお届けしたいと思います。

G Hせと 蔭谷 寛己

四月九日、松山市二番町一丁目にオープンしたばかりの「宮崎鶏焼 とさか」さんを紹介させていただきます。



鮮度抜群の鶏刺しや七輪で焼くスタイルの鶏焼きコースを提供されており、仕事終わりにお酒とともに楽しめる料理が充実しています。

オーナーや店長さんが「ここいいやん」って感じられるお店を目指してオープンされたそうで、入りやすく寛ぎやすいと思います。よかつたらぜひ行ってみてください。



場所：松山市二番町一丁目5-8

築ビル一階西側

開店：二八時 閉店：三時（ラストオーダー二時）

定休日：日曜日



ゆうゆう新聞の編集は、専門の広報部門がないので、ホームページなどを管理しているITシステム課で担当しています。現在全てのパソコンやタブレットを合わせると四〇〇台近くの端末があり、ソフトウェアやハードウェアのサポートのない日はないくらいに数多くの案件と対峙しています。そのため緊急のない新聞の編集は、担当者が出た時間に行っているのですが、そのタイミングに原稿が届いていない、催促をしなくてはいけないという状況だったり、未だにワードやエクセルに写真を貼り付けて投稿されることも多く、編集のタイミングを逸してしまうことが多いです。スキマ時間は実は三〇分程度のことが多く、ワード等から写真を剥がして加工するためには手間がかかります。手間だけなら良いのですが、画質が荒く使用できないものもあります。写真は写真。文章は文章に分けて投稿頂きますよう、ご協力をお願いいたします。



発行 株式会社悠遊社

編集 広報担当

連絡先 愛媛県松山市余戸南

二、二四、三十八

電話 〇八九九六五一一九九〇

連絡先 koho@vivyusya.co.jp

配布 毎月五日（基準日）